

気になる

あれこれ

教えて!



Q 休日勤務や夜勤のペースは?

A 基本は平日勤務 (8:30~17:15) で、土日祝日はお休みです。
休日勤務は1~2か月に1回程度 (2名体制)、夜勤は月1回程度 (16:00~翌9:00)。夜勤補助の勤務 (~21:00) は1~2か月に1回程度です。
勤務日の交代が可能で無理なくシフトを組めるように調整されています。

Q 入職前とのギャップは?

A 若手が想像以上に活躍していること!
1年目から病棟業務に関わるチャンスが多く、先輩が手厚くフォローして下さるので安心して挑戦できます。
忙しさよりも「学べる楽しさ」を感じる毎日です。

Q 病棟業務はいつ頃から始まりますか?

A 入職1年目の秋~冬にかけて、指導薬剤師によるOJTの下、病棟業務をスタートします。持参薬確認や患者さんとの面談などを経験し、翌年度4月に正式配属。
最初は不安もありますが、新人研修や先輩のサポートを通して、自然と知識と自信が身についていきます。

Q やりがいを感じるのはどんなとき?

A 患者さんの状態改善に関わることができた時が、やはり一番のやりがい!
日々の調剤や病棟業務を通じてスキルを磨き、薬剤師としての提案が医師の治療方針に反映された瞬間には大きな達成感があります。
また、退院時に患者さんの薬剤情報を院外の保険薬局へ積極的に提供しており、保険薬局から患者さんの経過が順調である旨の返信があったときにはとても安心するうえ、介入に努めてよかったですと感じます。

Q この病院を選んだ理由は?

A 多彩な診療科を有し、幅広い専門分野の薬剤師が在籍しているため、臨床経験を積むのにぴったりの環境だと感じたからです。実務実習で見た先輩薬剤師の姿勢やチーム医療での活躍が印象的で、「私もここで成長したい」と思い入職しました。

Q 入職直後に大変だったことは?

A 覚えることが多くて最初は大変でしたが、先輩薬剤師が常に寄り添い、実践的なアドバイスをしてくれたおかげで一つひとつ目の前の課題をクリアできました。
相談しやすく、挑戦を応援してもらえる風土があるので、積極的にチャレンジできます!

Q レクリエーションってありますか?

A はい!年度初めには薬剤部の歓迎会・送別会、年末には病院全体での忘年会があります (もちろん自由参加です)。
そのほか、他職種と交流できる野球観戦イベントや、薬剤部職員と家族も交えたお花見など、オフも楽しめる機会がいろいろあります!

各種認定資格等

※2025年12月末現在 資格は一部抜粋

認定学会	資格名称	人数
日本病院薬剤師会	感染制御専門薬剤師	3
	感染制御認定薬剤師	2
	妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師	1
日本薬剤師研修センター	がん薬物療法専門薬剤師	1
	小児薬物療法認定薬剤師	1
日本医療薬学会	医療薬学指導薬剤師	2
	医療薬学専門薬剤師	8
	がん専門薬剤師	6
日本臨床腫瘍薬学会	外来がん治療専門薬剤師	6
	外来がん治療認定薬剤師	2
日本緩和医療薬学会	緩和薬物療法認定薬剤師	3

各種データ

部門	項目	2023年度	2024年度	2025年度 (12月末現在)
	新規入職者	7	6	6
学術部門	学会発表 (一般演題)	5	9	11
病棟部門	服薬指導件数:月間	3251	3552	3572
	保険薬局や転院先との情報連携 (フォローアップ依頼書):年間	1375	1450	903
外来部門	プレコンセプション外来指導件数:年間		8	6
	薬剤師外来指導件数 (経口抗がん剤):年間	3042	2684	2570
	通院治療センター指導件数 (点滴抗がん剤):年間	12631	12293	12536

広島市立病院機構 給与・勤務条件についてはホームページ等をご確認下さい。

広島市立広島市民病院

薬剤部



広島市立北部医療センター 安佐市民病院



広島市立舟入市民病院



広島市立 リハビリテーション病院



地方独立行政法人 広島市立病院機構
広島市立広島市民病院

| 薬剤部ガイド |



薬剤部の 推しPOINT!

POINT 01 「安心して学べる」教育体制

吉川 2025年入職
 新人研修会は薬剤師として成長できる貴重な機会だと感じています。例えば、10分間の薬剤チェックでは、採用薬の用法・用量や副作用を再確認できます。また、処方箋の疑義を見つける講義は日々の調剤業務に直結し、役立っています。入職当初は何から学べばよいか悩んでいましたが、先輩薬剤師の勉強法やキャリアパスの紹介を通して、学ぶ方向性が見えてきました。さらに、自ら疑問を調べて発表する機会もあり、回を重ねるごとに新人同士の質疑応答も活発になり、成長を実感しています。当院は毎週研修時間が確保されており、安心して学び続けられる環境だと感じています。



成宮 教育・学術部門
 入職後は、On-the-Job Training(OJT)を通じて、調剤や製剤業務など必要な基本スキルを身につけます。教育体制の推しpointは、OJTと並行して実施している新人研修会です(週1回 75分間、年間42回!!)。入職初期は処方箋の確認方法や調剤時の留意点などを中心に講義形式で学びます。研修中盤からは講義に加え、テーマに沿ったプレゼンテーションや症例検討などを通して「考える力」「伝える力」を身につけます。私たちが目指しているのは「患者さんにとって最適な薬物療法を考え、行動できる薬剤師」です。新人薬剤師が安心して成長できるよう、薬剤部みんなでサポートしています。



POINT 02 機械化で新人も「安全に、確実に」

当院では、薬剤師業務を支援するさまざまな機器を導入しています。これらは業務効率化や医療安全の向上に加え、薬剤師の心理的負担軽減にもつながっています。

- 全自動錠剤分包機
 - ピッキングサポートシステム
 - 全自動散薬分包機
 - 抗がん薬調製支援システム
 - 散薬調剤ロボット
 - 注射薬払出システム
※2026年3月更新予定
- (一部抜粋)



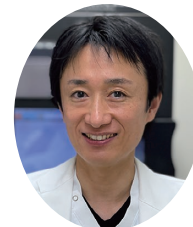
■ 一包化監査支援システム



■ 一包化錠剤仕分け装置

POINT 03 新人から「専門性へ」の第一歩

重里 妊婦・授乳婦認定薬剤師
 産婦人科医と連携したプレコンセプションケア外来の立ち上げに伴い、妊婦・授乳婦認定薬剤師の資格を取得しました。この資格は当院で初の取得例でしたが、症例作成等、教育担当の先生方を中心としたサポートのもと取得できました。新しいことに挑戦できる環境の中で、今後も専門性を活かしながら、患者さんに寄り添った薬物療法を実践していきたいと考えています。



菅原 教育・学術部門
 急性期病院である当院では、幅広い疾患に対応できる専門性が求められます。当院には、がん・感染症・心不全・小児など幅広い分野で認定・専門資格を持つ薬剤師が在籍しており、困ったときにはすぐに相談できる環境があります。また、日本医療薬学会、日本緩和医療薬学会の認定施設として、資格取得を目指す薬剤師を全力でサポートしています。「やってみよう」という気持ちを大切に、自分の興味や目標に合わせて成長できる職場です。

その他の魅力

充実の福利厚生 夜勤や休日動は交代制で、通常は平日勤務が中心です。祝日は休みで、有給休暇に加えて夏季休暇5日も取得できます。所属薬剤師が50名を超えていることから、休暇取得時も業務をカバーできる環境です。また、通勤手当や賃貸住宅に対する家賃補助制度もあります。その他、広島市職員に準ずる福利厚生が複数あります。

多彩な業務 担当業務制を採用しており、病棟業務やセントラル業務に加えて、調剤・注射・治療・DI・製剤業務など多様な経験を積むことができます。薬剤部全体を理解し、幅広い知識と対応力を育むことができます。

好立地 紙屋町シャレオに直結し、路面電車・バス・アストラムラインなど、各種交通機関からのアクセスが良好です。

薬剤師の1日

2年目



5年目



業務紹介 introduction

調剤部門

外来・入院患者さんへの内服薬調剤を行っています。効率化・安全性向上のため、各種機器を活用しながら業務を進めています。当院では、薬剤部にて院外処方に関する疑義照会への対応を行っています。処方変更が必要な場合には薬剤師が代行修正を行うことで、次回処方時に反映できる体制を整えています。



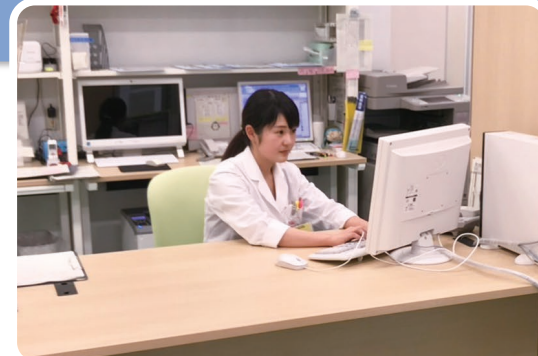
注射部門

注射薬の調剤を行っています。採用注射薬は現在700種類を超えており、注射薬払出システムやピッキングサポートシステムを使用することで、取り間違いのないよう患者さんごとに正確な調剤を行っています。



入院支援・薬剤師外来部門&癌化学療法部門

薬剤師外来では、医師の診察前に処方薬の効果や副作用、服薬状況、生活上の困りごとなどを丁寧に確認し、医師に情報共有や処方提案を行っています。診察後には患者さんへ抗がん剤治療に関する服薬指導も実施しています。また、産休・育休明けの薬剤師が専門資格を活かして活動できるように支援しており、育児と仕事の両立がしやすい環境づくりを進めています。



病棟業務部門

医師・看護師と連携し、処方提案や副作用管理などを通じて、チーム医療の一員として活躍しています。先輩薬剤師のサポートを受けながら、若手のうちから実践的な臨床力を磨けるのが特徴です。



チーム医療

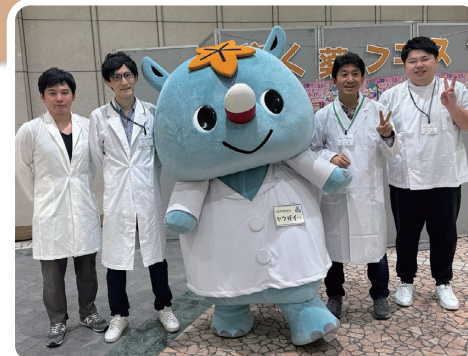
急性期医療を担う当院では、薬剤師が積極的にチーム医療へ参加しています。若手からベテランまで複数の薬剤師が各チームに関わり、現場で学びながら成長できる環境です。

- 薬剤師が参加している主なチーム
- NST (栄養)
 - ハートサポートチーム (循環器疾患)
 - ICT・AST (感染症)
 - PCT (緩和ケア)
 - 認知症ケアチーム
 - 摂食嚥下チーム
 - 術後疼痛管理チーム

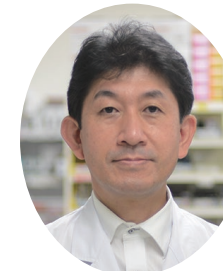


その他活動

地域医療への貢献を目的として、当院救急科主催の「広島子どもメディカルラリー」や、広島市薬剤師会主催の「やく薬フェスタ」などに参加しています。



Message



薬剤部 主任部長 渡邊 篤
 当院薬剤部は、救急・がん・周産期など幅広い医療を支える専門性を持ち、現場に根ざした薬剤師として多職種と協力しながらチーム医療に取り組んでいます。日々の業務から課題を見つけ、科学的根拠に基づく医療(EBM)を意識して改善していく姿勢を大切にしています。また、互いに学び合い後輩の育成にも力を入れる風土や、薬剤師として着実に成長し、急性期医療の最前線で活躍できる環境がここにはあります。一緒に学び、次の時代の医療を支える薬剤師を目指していきましょう。